

21世紀への展望 ——

さらに魅力ある栃木の価値創造を！

風光明媚な地には、古来より「地の靈」があふれています。「地の靈」は、その地の景観のみならず歴史的、文化的、社会的な背景から生まれ出されます。

栃木県には、美しい自然や、豊かな農作物、歴史的な遺跡や建造物、伝統工芸など、たくさんの素晴らしい文化資源があります。

「観光サミット」では、その資源を改めて見つめ直し、未来につながる価値“栃木バリュー”を見いだすため、他国や他県のさまざまなケースに学びながら、栃木ならではの観光へのアプローチ、あり方を見出すことを目的としています。

県内はもちろんのこと他県においても、観光やホスピタリティ産業に関わる企業や学生が集い、栃木の歴史に学び、土地に学び、ひいては日本の未来の観光について考える一助となることを期待しております。



TOURISM INNOVATION MESSAGE



HIROSHI MIZOHATA

観光庁長官 溝畑 宏

COMMISSIONER
JAPANTOURISM AGENCY

「観光立国と観光立県」

2009年12月に策定された政府の新成長戦略において、観光は6つの成長戦略分野のひとつとして位置付けられているところであります。日本は四季折々の豊かな自然・風土、美しい景観、多様な歴史・文化などを数多く有しており、世界的にみて観光のポテンシャルは極めて高いと考えております。

現在、全国各地で、グリーンツーリズム、アグリツーリズム、エコツーリズムなど、独自の文化資源をいかした観光資源をもとに地域活性化に

成功している事例もたくさん見られます。これまでの観光という枠を超えた、地域の持つ文化資源を発見することは、国際的に見ても競争力の高い観光地づくりを図ることといえ、さらなる地域経済の活性化につながるでしょう。

栃木県にある、ロイヤルリゾートの那須、温泉地として栄えてきた鬼怒川、世界遺産を抱える日光、陶芸の益子などは、豊かな自然とともに独自に育んできた個性豊かな文化を持ち、観光資源としての競争力を持ち得た観光地といえましょう。

私ども観光庁は、単に海外からの観光客を誘致することにとどまらず、栃木県の地域の皆様とともに手を取り合って地域おこしに取り組み、これから観光立県、観光立国を推進したいと願っています。

文化、アート、自然、農業、健康、スポーツ……。今回の「キックオフ！観光サミット2010 in 那須 Adding Value to the Wonders of TOCHIGI」が、県内外で成功している事例を参考に、これまでの観光を見つめ直し、それらを軸とした観光おこしにつながり、元気な那須、元気な栃木、元気な日本をつくりだすきっかけになってくれることを期待してやみません。



MASARU TAKAKU

那須町長 高久 勝

MAYOR OF NASU

日光国立公園の一端にあり、那須高原、伊王野や芦野、そして八溝山地を抱える那須町は、それぞれの地域がその地域性を發揮できる「農業と観光のバランスのとれたまちづくり」を行ってまいりました。

なかでも年間500万人を迎える観光産業はその裾野を考えると、当町を支える大きな産業に他なりません。これまで既存の観光地の振興はもちろんのこと、食による観光振興やフィルム・コミッション、あるいは「恋人の聖地」など、常に新しい観光施策を考え提供していました。

今回の「キックオフ！観光サミット2010 in 那須 Adding Value to the Wonders of TOCHIGI」において、県内外で、新しい観光を軸に街おこしや地域おこしに尽力されている方々の経験を拝聴できることは当町の観光にとってもきわめて有意義なこと考えます。また、プログラムの一つとして那須町を舞台にした学生インターンシップによる観光プレゼンテーションは、若い学生の皆さんのが新鮮な感覚で、どのような提案をしてくれるのか今から楽しみでなりません。

SCHEDULE

学識者による基調講演から始まり、栃木県内の企業などによるパネルディスカッション、学生による観光プレゼンテーションで構成された、産、官、学、民がダイナミックに交差する、これまでにない学びの機会となっております。

11:00 - 11:30	開会の挨拶 来賓の挨拶
11:30 - 12:30	基調講演「新観光戦略による地域振興」 溝尾良隆（帝京大学経済学部観光経営学科教授）
12:30 - 13:00	ティーブレイク
13:15 - 14:45	パネルディスカッション①「栃木・観光立県の可能性」 小山田孝司（那須高原ビール株式会社社長） 鈴木和也（那須どうぶつ王国総支配人／那須町観光協会理事・情報部会長） 原田淳（宇都宮大学農学部准教授） 山谷拓志（株式会社リンクスポーツエンターテインメント代表取締役社長）〈進行：溝尾良隆〉
14:45 - 15:00	休憩
15:00 - 15:30	学生による“栃木再生プログラム”プレゼンテーション
15:30 - 16:30	特別講演「ホスピタリティツアーリズム」 山本哲士（東京藝術大学客員教授）
16:30 - 18:00	パネルディスカッション②「観光ビジネスの新機軸 文化・アート・農業・健康」 桑野和泉（株式会社玉の湯代表取締役） 小林一郎（農業生産法人 株式会社信州せいしゅん村むらおさ） 新見隆（キュレーター／武蔵野美術大学教授）
18:00 - 18:15	休憩
18:15 - 19:45	懇親会

参加費 シンポジウム+懇親会 一般 12,000円（栃木県在住の学生は1,000円割引とさせていただきます）
シンポジウムのみ 一般 6,000円（栃木県在住の学生は3,000円割引とさせていただきます）

※懇親会のみの参加はできません。
あらかじめご了承ください。

GUEST

TAKASHI OYAMADA 小山田孝司 那須高原ビール株式会社社長	IZUMI KUWANO 桑野和泉 株式会社玉の湯代表取締役	ICHIRO KOBAYASHI 小林一郎 農業生産法人 株式会社信州せいしゅん村むらおさ	KAZUYA SUZUKI 鈴木和也 那須どうぶつ王国総支配人／ (社)那須観光協会理事・情報部会長	RYU NIIMI 新見 隆 キュレーター／ 武蔵野美術大学芸術文化学科教授
那須深山の清らかな雪解け水と、“おいしさに愛と幸せをのせて”を合言葉に仕込まれた本物の地ビールを生産。日本初のワールドビアカップ五大会連続入賞。世界三カ国で金賞を受賞し、高い評価を受けている。	大分県湯布院町生まれ。家業の宿「由布院玉の湯」の専務取締役を経て、2003年より社長に。旅館業のかたわら、町づくり市民グループの代表などを務める。由布院温泉観光協会会長。	1998年、地域の農村農業に危機感を覚え、行政を無視せず、行政だけを頼らず、支持者に支援を受け、「来て貢うことで成り立つ農村」を目指す。ありのままの農村を売っている。		二期リゾート文化顧問。イサムノグチ庭園美術館学芸顧問。元西武美術館、セゾン美術館学芸員。「イサムノグチと北大路魯山人」、「柳宗理のデザイン」などの展覧会を手掛ける。
JUN HARADA 原田 淳 宇都宮大学農学部准教授	YOSHITAKA MIZO 溝尾良隆 帝京大学経済学部観光経営学科教授	TETSUJI YAMAMOTO 山本哲士 東京藝術大学客員教授	TAKASHI YAMAYA 山谷拓志 株式会社リンクスポーツエンターテインメント代表取締役社長	A DDING VALUE TO THE WONDERS OF TOCHIGI
農業経営学が専門。栃木・茂木町や那須烏山市で宇都宮大学の農業サークル「さとびと」とともに棚田保全活動に参加し、里山の問題を組織や経済面から研究している。	JTB財団、立教大学など経て現職に。地域観光学、観光地理学が専門。川越市、新治市の地域研究で実績がある。来年4月、帝京大学宇都宮に新設される地域経済学科の学科長に就任予定。	社会学者。21世紀の新たな視点ともいえるホスピタリティの視点から、ホスピタリティビジネス・コンサルタントとして活動を続けています。		